



若竹だより



運営基本理念

報四恩

父母の恩・社会の恩

郷土の恩・大自然の恩

- 【私たちの願い】 ①よろこんで与える人間となろう ②いのちを大切にする人間となろう
③こころ静かに考える人間となろう ④使命に生きる人間となろう ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業 ①四国八十八ヵ所巡礼者無料宿泊&お接待 ②講演会・シンポジウム等

【巻頭言】

子どもの時間

園長 宮竹 恒

冬の寒さが強く感じられるようになりましたが、いかがお過ごしでしょうか。学園の子どもたちは幸いにも、インフルエンザに感染することなく、元気に過ごすことができています。

子どもたちは、比較的薄着で過ごしており、「寒くないの？」と声をかけると、「大丈夫」と返事が返ってきます。また、雪がチラつくつと、「そりが使えたらいいのに」と話す子どももおり、冬の寒さより子どもたちの元気の方が勝っていると感じています。

さて、学園には時折、卒園生が遊びにきてくれることがあります。行事以外で訪ねてきてくれる時は、何かの節目であることが多いようです。

先日、成人式を控えたA君が学園を訪ねてきてくれました。A君は、新しい園舎に驚きながら、学園で生活していた頃の話に懐かしそうに語ってくれました。

A君は、当時の写真を大切にアルバムに入れて持参しており、写真を一緒に観ながら話をしました。行事の思い出や、友達との関係等を色々と話してくれる中で、当時の気持ちを語ってくれました。入所した時、優しく接してくれた同級生については、「とてもお世話になった」と話をしていました。

A君の話を聴いていると、子どもだけでなく、これまで出会った人への感謝の気持ちが強く感じられ、感動しました。

A君の話の中で、非常に印象に残った言葉があります。それは、「生きてきた中で一番、濃い時間だった」という言葉です。

学校、学園で共に仲間と生活した時間がA君にとっては密度が濃かったのでしょうか。

当時は、一人になる時間が欲しいと思うこともあったと思いますが、同室の子どもと過ごした時間も、大人になると、貴重な思い出になったようです。

もちろんA君以外にも、卒園生が訪ねてくる場合があります。その時に、話してくれる学園での友達との思い出は、職員が知らない、内容が沢山あります。子どもには、子どもの時間があり、子どもの頃の思い出を卒園生の方と共有できることは、大変、嬉しいことです。

卒園生の話を聞いていると、学園の25年の歴史は子どもたちが一緒に創ってきた歴史であるなとつくづく感じます。

これまで、積み重ねてきた活動・行事は、子どもから子どもへ受け継がれているもの多く、けっして職員だけで出来たものではないと思っています。

多くの卒園生の方々に感謝すると共に、卒園生がいつでも帰ってくる事ができる学園でありたいと思います。

青峰・若竹学級だより 1月

3 学期始業式



1月8日、3学期の始業式を行いました。新しい年のスタートにふさわしい笑顔や決意に満ちた顔がたくさん見られました。

下笠居中学校の大下校長からは、「他人は変えられないが、自分のことは変えることができる。目標をもち、1日1日を大切に過ごしてください。」とお話がありました。

書き初め



小中合同の新春書初め大会では、「正月」「新春」「希望」「輝ける未来へ」などの言葉を選んで書きました。今年は元号が変わることから、「平成」という言葉を書いた子どももいました。久しぶりの毛筆でしたが、集中して取り組み、見事に完成させました。作品は校舎1階玄関横に掲示しています。

凧あげ

小学校の図工の時間に、レジ袋とストローを材料に凧を作りました。袋を切るときは左右対称の形になるように丁寧にはさみを使い、セロファンテープはできるだけ短く切って、重くならないようにしました。自分の好きな文字や絵をかく子どももいました。休み時間になると、中学生も一緒になって凧あげをして遊ぶ姿が見られます。



餅つき

12 月 28 日、食育でもちつきをしました。



天気が心配されましたが、なんとか晴れ、園庭で行うことができました。風が吹いていた為、かなり肌寒かったですが、子どもたちはわ



いわいと、昔ながらの杵や臼を使ってもちをついたり、つきあがったもちを丸めたり、楽しそうな様子でした。つきあがったお餅は雑煮にして食べ、たくさん食べて満足そうでした。



初詣

元旦に近くの白峰寺に初詣に行きました。



なかなか初詣を経験したことがない子どももいて、ワクワクしながらの出発となりました。到着すると、中 3 生が小学生の面倒を見ながら引っ張って行ってくれました。

中 3 生は受験があるということで、真剣な顔で参拝していました。



その後は、それぞれお守りを買ったり、おみくじを引いて「吉だった」「末吉と吉ってどっちが良いん？」と盛り上がっていました。

そして、頂いたお年玉を持って買い物と外食に行きました。普段できないことをいろいろと経

験でき、子どもたちにとって良い思い出となりました。



今年初の夕食は。。

1 月行事



元日の夕食は、鍋作りをしました。初詣の帰りに、班に分かれて味や具材を決め、買い物にも行きました。学園に帰って調理を

して、みんなでお喋りしながら楽しくいただきました。自分たちで一から作った鍋は、いつもよりおいしく感じたようです。

- 1 日 初詣
- 6 日 パフェ作り
- 8 日 図書館学習
- 19 日 買物学習
- 21 日 防災訓練
- 27 日 うどん作り
- 30 日 買物学習

子ヤギ誕生

1 月 21 日にヤギの赤ちゃんが 2 頭生まれました。



まだ生まれて間もないですが、元気にヤギ小屋周辺を走り回っています。子ども達もヤギの赤ちゃんを見て「かわいいー」「ふわふわだ」と口を揃えて言っています。また、夕方にヤギの餌をあげに行くことが子ども達との日課になっています。これから成長していくのが楽しみです。



在籍人数

平成 31 年 1 月 1 日現在

区 分		県内 (人)	県外 (人)	合計 (人)
男 子	小学生	5	0	5
	中学生	4	3	7
	その他	0	0	0
	計	9	3	12
女 子	小学生	2	0	2
	中学生	5	2	7
	その他	0	0	0
	計	6	3	9
合計		15	6	21

編集後記

今年はまだ雪が降っていませんが学園は寒い
です。風邪をひかないように子どもと元気に
過ごしたいです。 セラピスト 西

第 299 発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192
 TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160
 ホームページ <http://4on.or.jp>
 Eメール wakatake@4on.or.jp
 編集兼発行者 若竹学園 編集委員
 発行責任者 宮竹 恒